

●レディース用浴室を新設（レッズランド） 「常にベストコンディションで 戦ってください」

株式会社太陽 阿部悠久子代表に聞く

★浦和レッズレディースの練習場であるレッズランドに、このほど選手用の浴室が新設される。設計から施工まで一切を提供してくれたのは、レッズレディース・パートナーの株式会社太陽。来月から使用に供される。なでしこリーグで巻き返しを図り、皇后杯へ向かうレッズレディースにとって、力強いサポートだ。同社の阿部悠久子代表に話を聞いた。



阿部悠久子
株式会社太陽 代表取締役

— 太陽さんが、今年から浦和レッズレディースのパートナーになられた経緯を教えてください。
当社は、マンションの大規模修繕を専門にしている建設業者ですが、地域への貢献をどうしていくか、という話が社内でも持ち上がっていました。以前から太陽では女性を積極的に採用していて、女性スタッフの比率が高いことが特長なんです。最近では社内だけでなく「地域」という広い視野で女性をバックアップしたいと考えるようになっていました。

埼玉県はいわゆるサッカー王国ですし、当社の本社は旧浦和市にあります。そこで社内で議論を重ね、挙がってきたのが浦和レッズレディースへのサポートです。レッズレディースの選手のみならず、昼間は会社や大学に通い、夜に練

習するという環境でサッカーを続けています。日本の女子サッカーは2011年ワールドカップでなでしこジャパンが優勝してから一気に盛り上がりましたが、それを一過性のブームで終わらせず、女子サッカーの環境が少しでも良くなることを願って、パートナーになることを決めました。レッズレディースへのサポートを通じて、さらに多くの「頑張っている女性」を応援できるように影響力のある企業を目指していきます。

— 今回、浴室を作っていたいたきつかけは選手との対談だったそうですね。
パートナーになってすぐ、後藤選手と猶本選手と対談する機会がありました。お二人と話していると、全身全霊を傾けてサッカーに取り組んでいることがひしひしと伝わってきて、思わず

私が「何か欲しいものはない？」と聞くと、猶本さんが「シャワールームに湯船が欲しい」とおっしゃったんです。練習が終わってシャワーだけというのは、疲れが取れないですし、冬は身体が暖まらないでしょう。建設業者として黙っているわけにはいかず、二つ返事でOKしてしまいました(笑)。

— 工事に当たってはいかがでしたか。
「代表が約束したのだから」と社内でもすぐに動き出し、現場を調べた結果、シャワールームに浴槽を設置するのはなく、倉庫のエリアを浴室に改修する本格的な工事になりました。

設計・デザインのポイントは、浴槽を仕切る赤い壁です。レッズのカラーの「赤」を利かせているだけでなく、鉄壁のDFラインをイメージした、こだわりの部分です。また湾曲した浴槽はボールの軌跡を、壁面を飾る六角形のタイルはサッカーボールをイメージしています。



新設される浴室（イメージ）

— 今後のレッズレディースに対する期待を聞かせてください。
リーグ戦では苦戦していますが、何においても良いときと悪いときはあるものだと思います。

この浴室には、水風呂もありますから、熱いお湯と冷たい水に交互に浸かる交代浴でしっかり疲れを取って、常にベストコンディションの状態であるように備えていたきたいです。

私だけでなく、当社の社員も心から応援しています。

練習からの回復に大きな味方

後藤三知

◆選手の生活サイクルの中で、練習後から翌朝までの短い時間にいかに回復するか、というのが大事なことです。これまで帰宅してからあらためてお風呂に入ったり、「スーパー銭湯」に行ったりしている選手もいました。クラブハウスにお風呂ができるというのは大きな味方になってくれると思います。

阿部代表と対談したときには、本当に親身になって応援してくださる気持ちを感じました。ピッチで私たちが躍動する姿を見せられるように頑張っていきたいです。

感謝の気持ちをプレーで示す

猶本 光

◆私のひと言が現実になってびっくりしています。最初は半信半疑だったんですが、対談後すぐに現場を調べてくれました。これから寒い季節に向かいますから、本当に太陽さんには感謝しています。その気持ちをこれからのプレーで表していきたいと思います。